

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
総合	コーピング	1	学校必登録	講義・実習 (体験活動)	—	◎	—	—	—
学習目標	○自己理解を深め、学習の動機付けをもつ。 ○認知を変化させて、ストレスをコントロールする方法を学ぶ。 ○心と体をリラックスさせ、情動をコントロールする方法を学ぶ。 ○人間関係を作るための社会的スキルを身に付ける。								
主な学習 計画	1 年 間 の 学 習	○導入(自己理解を深め、学習の目標をもつ) ○「情動」のスキル リラックス法を習慣にする(呼吸法、弛緩法、イメージ法) ○「認知」のスキル 認知の仕方を柔軟にし、ストレスを軽減する ○「行動」のスキル(ソーシャルスキル) 会話のスキル、あたたかい言葉かけ アサーション(相手も自分も大切に、自己主張の仕方)							
教科書 副教材等	早稲田大学との共同開発による本校オリジナル教材 KJQ 検査等、各種心理検査								
留意事項	○ワークシートに書いて考える学習を主に、グループワークなどの実習を取り入れ、実際に体を動かして体験的に学んでいきます。 ○心理検査代、ファイル代(年次積立金から支出する)								
評価の方法	☒ 出席状況	☒ 授業への取組	☒ 課題等の提出	☐ 定期考査					
以上の点を総合的に評価する。									
履修条件 セルフチェック	☐ 令和7年度新入生である。(1年次学校必登録科目) ☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
総合	産業社会と人間	2	学校必登録	講義・演習	—	—	◎	—	—
学習目標	○自己の生き方を探求させるという観点から、自己啓発的な体験学習や討論などを通して、職業の選択決定に必要な能力・態度、将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養うとともに、自己の充実や生きがいを目指し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度の育成を図る。 ○現実の産業社会やその中での自己の在り方生き方について認識させ、豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度の育成を図ること。								
主な学習計画	1 年 間 の 学 習	○進路と自己実現(大学入試について・大学とは・専門学校とは・就職とは等) ○職業と生活(企業組織を知る・企業の求める人材・求人票を見よう・働く最低基準とは 等) ○我が国の産業の発展と社会の変化(探究活動の実施、学習成果発表会での発表 等) ※講師の依頼状況等により内容が変更されることがあります。							
教科書 副教材等	本校オリジナル教材・ワークブック・進路の手引き								
留意事項	○2年次必登録科目である。 ○ファイル・ワークブック代等を年次積立金から支出する								
評価の方法	☒ 出席状況 ☒ 授業への取組 ☒ 課題等の提出 ☐ 定期考査 ☒ 小テスト 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	☐ 現在1年次である。(2年次学校必登録科目) ☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
総合的な探究 (学習)の時間	人間と社会	1	学校必履修	講義・演習	—	▽	—	再	再
学習目標	○価値の理解を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して、道徳性を養い、判断基準(価値観)を高めることで、社会的現実にも照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。								
主な学習 計画	1 年 間 の 学 習 ○支援機関等による講話(本校 YSW・SC・MF・若者サポートステーション等を予定) ○合格体験講話(本校を卒業した上級学校進学者や就職者を予定) ○進路体験旅行指導・職業レディネステスト・自分史の作成 等 ○教科書に基づいたグループワークによるケーススタディの実施 ※講師の依頼状況等により内容が変更されることがあります。								
教科書 副教材等	『人間と社会』(東京都教育委員会)・本校オリジナル教材・進路の手引き								
留意事項	○1 年次必履修科目である(未履修者は卒年次に再履修する)。 ○卒業するためには、この科目を1単位履修しなければならない。 ○グループワークや発表などを授業の中で実施する。 ○ファイル代等を年次積立金から支出する								
評価の方法	☒ 出席状況 ☒ 授業への取組 ☒ 課題等の提出 ☐ 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	☐ 令和7年度新入生、または来年度卒業予定で「人間と社会」未履修。(1 年次学校必履修科目) ☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
総合的な探究 (学習)の時間	キャリアサクセス	2	学校必履修	講義・演習	—	—	—	▽	▽
学習目標	○ これまでの学校生活におけるすべての体験を活かし、社会に生きる人間としてより良い在り方・生き方を追求し、望ましい職業観の育成を目指すとともに、自己実現のために具体的な計画を立て、それを実行し実現する実践的な取り組みを行う。								
主な学習 計画	1 年 間 の 学 習 ○志望理由書の作成(ワークブックに基づく原稿作成作業、添削後みなおし作業 等) ○面接練習(相応しい受け答えや立ち居振る舞いをする実践力を身につける) ○出願書類準備(出願に備えて、願書や志望理由書等の提出書類を確認し、作成準備する) ○プレ社会人講座(主権者教育講座、ビジネスマナー講座、身だしなみ講座 等) ○学習成果発表会準備(高校生活を振り返り、ここまでの自己形成に至る経過を文章にする) ※講師の依頼状況等により内容が変更されることがあります。								
教科書 副教材等	本校オリジナル教材・ワークブック・進路の手引き								
留意事項	○卒業年次必履修科目である(卒業年度にしか履修できない)。 ○卒業するためには、この科目を2単位履修しなければならない。 ○ファイル・ワークブック代等を年次積立金から支出する。								
評価の方法	☒ 出席状況 ☒ 授業への取組 ☒ 課題等の提出 ☐ 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	☐ 現在2年次以上で、来年度卒業予定。(卒業年次学校必履修科目) ☐ 令和7年度の履修で卒業要件を満たす。 ☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								